



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社
 コード番号 2309 URL <https://www.cmicgroup.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 望月 渉

TEL 03-6779-8000

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (電話会議、機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	19,800	13.8	923	4.4	911	5.8	481	10.3
2019年9月期第1四半期	17,399	4.6	965	4.8	861	16.8	536	1.4

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 427百万円 (%) 2019年9月期第1四半期 434百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	26.63	
2019年9月期第1四半期	28.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第1四半期	80,414	32,924	27.6	1,226.61
2019年9月期	80,179	32,994	27.8	1,231.65

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 22,167百万円 2019年9月期 22,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		5.00		27.00	32.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		5.00		33.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	9.6	4,900	11.2	4,600	19.8	2,300	26.2	127.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	18,923,569 株	2019年9月期	18,923,569 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	851,325 株	2019年9月期	851,347 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	18,072,191 株	2019年9月期1Q	18,572,041 株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式(2020年9月期1Q 171,000株、2019年9月期 171,000株)が含まれております。また、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年9月期1Q 171,000株、2019年9月期1Q 172,000株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年2月3日(月)に機関投資家・証券アナリスト向けに、電話会議を開催する予定です。説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当連結会計年度の概況]

当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開しております。CRO (医薬品開発支援) 事業、CDMO (医薬品製剤開発・製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。また、IPM (Innovative Pharma Model) 事業では、当社グループが保有する製造販売業等の許認可 (知的財産) とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供しております。

医薬品業界においては、“患者により適した医療”の提供に向けて、技術革新や産官学連携による革新的医薬品の創出が期待される一方で、保険医療財政への影響から、薬価算定方式の妥当性・正確性の向上やイノベーションの評価等を論点とする薬価制度の見直しが進んでおり、医薬品産業は技術力や生産性の向上を通じて国際競争力のある産業構造へ転換することが求められています。第四次産業革命と称される人工知能 (AI) やIoTなどの新たなテクノロジーが社会全体に大きな変革をもたらし、ヘルスケア分野においても医療のあり方や健康に対する個人の価値観が変化する中で、産官学界が連携して少子高齢化社会に対するイノベーションに取り組んでいます。

当社グループは、この急速に変化する外部環境に迅速かつ柔軟に対応し、持続的な成長を実現するための取り組み「Project Phoenix」を推進しております。「Project Phoenix 3.0」では、製薬企業を全面的に支援する独自の事業モデルPVCの展開をヘルスケア分野に拡大し、新たなビジネスの創出に取り組んでおります。また、2019年9月期を初年度とした中期計画 (FY2019-2021) では、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、PVCモデルの加速、グローバル化の促進、ヘルスケアビジネスの創出を重点取組事項に掲げており、引き続き中期計画の達成に向けて、グループ一丸となって諸施策を推進してまいります。

[売上高及び営業利益]

当第1四半期連結累計期間においては、新規ヘルスケアビジネスの創出をはじめ、中期計画の重要課題に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の売上高は、CDMO事業及びCSO事業が伸長したことにより19,800百万円 (前年同期比13.8%増) となりました。営業利益につきましては、CDMO事業及びCSO事業が改善したものの、CRO事業が減益となったこと等により923百万円 (前年同期比4.4%減) と前年同期を下回りました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、前第1四半期連結累計期間の業績及び前年同期比較につきましては、変更後の区分のものに組み替えて表示しております。

<CRO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	9,106	9,193	+87 (+1.0)
営業利益又は営業損失 (△)	2,051	1,541	△509 (△24.9)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、バイオ医薬品や再生医療等製品など高度化する開発ニーズへの対応を促進するとともに、アジアにおける拠点拡大に取り組んでおります。

臨床業務においては、同一案件にグループの複数の事業が関与するPVC案件やグローバル試験の受注強化と、人材の専門性及び技術力向上に努めております。

非臨床業務においては、国内及び米国ラボの連携を強化し、核酸医薬や再生医療など先端領域の創薬支援に積極的に取り組んでおります。

売上高につきましては、前年同期並みとなりましたが、営業利益につきましては、臨床業務において、稼働率の低下と、不採算プロジェクトの計上があったこと等により前年同期を下回りました。

<CDMO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	3,384	5,081	+1,696 (+50.1)
営業利益又は営業損失 (△)	△377	△42	+335 (-)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品製剤開発・製造支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図っております。

売上高につきましては、国内における受託生産量の増加と、2019年6月に事業を開始したシミックCMO西根株式会社の寄与等により、前年同期を上回りました。利益面では、足利工場新注射剤棟の減価償却費の計上及び米国における受託生産量減少の影響等により営業損失を計上していますが、損失額は減少しています。

<CSO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	1,782	2,188	+406 (+22.8)
営業利益又は営業損失 (△)	△44	233	+277 (-)

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、MR（医薬情報担当者）派遣業務や関連する新たなサービスに加え、メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化し、複数のコミュニケーションチャンネルと多様なサービスを組み合わせた総合的なソリューションの提供を進めております。MR派遣業務における堅調な引き合いに応じて、引き続き人材の確保に注力していきます。

売上高及び営業利益につきましては、前期に獲得したMR派遣業務の案件が堅調に進捗したこと等により、前年同期を大幅に上回りました。

<ヘルスケア事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	2,347	2,392	+45 (+1.9)
営業利益又は営業損失 (△)	177	97	△79 (△45.1)

当事業においては、SMO（治験施設支援機関）業務に加え、ヘルスケアサービスとして、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、SMO業務におけるがん領域の対応強化とともに新サービスの拡充を進めております。また、電子お薬手帳「harmo」事業、自己検査サービス「SelCheck」の展開をはじめ、疾患の早期発見や重症化予防に貢献するビジネスの創出に取り組んでおります。引き続き、SMO業務の新規受注確保と、新規ヘルスケアビジネスの早期収益化を目指します。

売上高につきましては、SMO業務及びヘルスケアサービスともに伸長したことにより、前年同期を上回りました。営業利益につきましては、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資が発生したことにより、前年同期を下回りました。

<IPM事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	954	1,149	+194 (+20.4)
営業利益又は営業損失 (△)	△12	51	+64 (-)

当事業は、当社グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等へ提供する事業であり、主にオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）や診断薬等の開発及び販売に係る業務を行っております。

自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売のほか、IPMプラットフォーム提供を通じた海外製薬企業の日本市場進出支援や、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等によるIPM事業の基盤強化を進めております。引き続き新しいビジネスソリューションの提供により、事業規模拡大と利益確保に取り組んでいきます。

売上高につきましては、オーファンドラッグ等の販売増加により前年同期を上回り、営業黒字を計上いたしました。

[経常利益]

当第1四半期連結累計期間の経常利益は911百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

営業外収益として受取賃貸料及び為替差益等51百万円、営業外費用として支払利息及び持分法による投資損失等63百万円を計上しております。

[親会社株主に帰属する四半期純利益]

当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は481百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

特別利益として固定資産売却益3百万円、特別損失として固定資産除却損25百万円、法人税等合計として416百万円及び非支配株主に帰属する四半期純損失として8百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で234百万円増加し、80,414百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の増加と現金及び預金等の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で303百万円増加し、47,489百万円となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパー及び長期借入金等の増加と短期借入金及び賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で69百万円減少し、32,924百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月7日に公表いたしました「2019年9月期決算短信」の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,146	10,938
受取手形及び売掛金	13,082	14,067
商品及び製品	682	622
仕掛品	4,074	4,023
原材料及び貯蔵品	2,578	2,627
その他	3,009	3,193
貸倒引当金	△67	△68
流動資産合計	35,506	35,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,471	13,434
機械装置及び運搬具(純額)	9,848	10,447
土地	6,425	6,436
その他(純額)	4,004	4,010
有形固定資産合計	33,750	34,328
無形固定資産		
のれん	237	161
その他	1,338	1,354
無形固定資産合計	1,575	1,516
投資その他の資産		
投資有価証券	3,007	2,861
敷金及び保証金	1,997	1,991
その他	4,921	4,897
貸倒引当金	△579	△584
投資その他の資産合計	9,347	9,165
固定資産合計	44,673	45,010
資産合計	80,179	80,414

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,082	1,065
短期借入金	3,018	1,668
1年内返済予定の長期借入金	2,822	2,922
コマーシャル・ペーパー	2,000	3,000
未払法人税等	647	94
賞与引当金	2,677	640
受注損失引当金	561	664
その他	9,935	11,496
流動負債合計	22,743	21,552
固定負債		
長期借入金	11,356	12,550
退職給付に係る負債	8,721	8,912
その他	4,364	4,473
固定負債合計	24,441	25,936
負債合計	47,185	47,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,102	6,102
利益剰余金	14,121	14,105
自己株式	△1,578	△1,578
株主資本合計	21,733	21,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	613	483
為替換算調整勘定	△35	8
退職給付に係る調整累計額	△52	△42
その他の包括利益累計額合計	525	450
非支配株主持分	10,735	10,757
純資産合計	32,994	32,924
負債純資産合計	80,179	80,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	17,399	19,800
売上原価	13,677	15,723
売上総利益	3,721	4,076
販売費及び一般管理費	2,756	3,153
営業利益	965	923
営業外収益		
受取利息	1	1
為替差益	-	20
受取賃貸料	5	5
その他	25	23
営業外収益合計	32	51
営業外費用		
支払利息	32	30
持分法による投資損失	35	15
為替差損	56	-
その他	11	16
営業外費用合計	135	63
経常利益	861	911
特別利益		
固定資産売却益	6	3
特別利益合計	6	3
特別損失		
固定資産除却損	47	25
特別損失合計	47	25
税金等調整前四半期純利益	820	889
法人税、住民税及び事業税	36	59
法人税等調整額	514	357
法人税等合計	551	416
四半期純利益	269	473
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△267	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	536	481

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	269	473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△696	△129
為替換算調整勘定	△27	65
退職給付に係る調整額	19	19
その他の包括利益合計	△703	△45
四半期包括利益	△434	427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△155	405
非支配株主に係る四半期包括利益	△279	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という)を適用しております。

IFRS第16号の適用により、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

なお、当第1四半期連結会計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	CRO事業	CDMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPM事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,068	3,366	1,781	2,228	954	17,399	-	17,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	18	0	118	-	176	△176	-
計	9,106	3,384	1,782	2,347	954	17,575	△176	17,399
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,051	△377	△44	177	△12	1,793	△828	965

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△828百万円には、セグメント間取引消去等△0百万円、各報告セグメントへ配分していない全社費用△827百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	CRO事業	CDMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPM事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,132	5,061	2,188	2,267	1,149	19,800	-	19,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	19	-	125	-	205	△205	-
計	9,193	5,081	2,188	2,392	1,149	20,006	△205	19,800
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,541	△42	233	97	51	1,881	△958	923

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△958百万円には、セグメント間取引消去等2百万円、各報告セグメントへ配分していない全社費用△961百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、シミックキャリア(株)は、事業領域の変化に伴いCRO事業からヘルスケア事業に報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分のものに組み替えて算出しております。

3. 補足情報

受注の状況

受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業	7,903	54,312	9,187	53,668	34,408	53,614
CDMO事業	4,195	4,657	5,062	5,313	18,722	5,312
CSO事業	2,595	4,075	1,988	3,823	8,688	4,022
ヘルスケア事業	2,717	10,456	2,984	11,927	10,813	11,211
合計	17,411	73,501	19,222	74,733	72,633	74,161

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。
3. CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみを計上しております。顧客から提示を受けている年間ベースでの発注計画等は、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。
4. IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注の状況から除外しております。
5. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度における受注高及び受注残高は、変更後の報告セグメントの区分のものに組み替えて算出しております。